

**第2期上徳良地域まちづくり計画
(上徳良地域ビジョン)**

令和5(2023)年3月

**上徳良自治振興会
三原市大和町上徳良**

目 次

序章	計画策定にあたって	1
1	地域ビジョン策定の目的	1
2	地域ビジョンの役割	1
3	地域ビジョン策定の取組	1
1章	地域の概要	2
1	位置	2
2	人口・世帯数	3
3	地域活動の状況	4
2章	地域の魅力・資源と問題点・課題	6
1	地域の魅力・資源	6
2	地域の問題点・課題	7
3章	地域ビジョン	8
1	地域の将来像	8
2	地域づくりの目標設定	8
3	地域づくりの体系	10
4	地域づくりの基本計画	11
5	計画の推進体制	17
資料編		
1	策定経過	20
2	上徳良地域ビジョン策定委員会名簿	21

序章 計画の策定にあたって

1 地域ビジョン策定の目的

上徳良地域は、三原市大和支所やJA等が所在する下徳良地域に隣接し、比較的利便性に恵まれています。また、特徴のある農業、養鯉業が行われているほか、事業所が比較的多く立地し、産業活動が活発な地域です。

しかし、若年層を中心に人口が流出するなど、高齢化・少子化が進行し、自治振興会をはじめとする各種団体の担い手が不足してきています。また、人口減少を背景として小学校をはじめとする公共公益施設、商店などが徐々に減少してきている一方で空き家は増加してきており、地域の活力が失われてきています。

こうした状況において、自分たちの地域のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して持続可能なまちづくりに取り組むことが一段と重要になっています。

このため、上徳良自治振興会では、平成29(2017)年3月に策定した「上徳良地域まちづくり計画」とその後の取組を踏まえて、新たに「第2期上徳良地域まちづくり計画（上徳良地域ビジョン）」の策定に取り組みました。

2 地域ビジョンの役割

「第2期上徳良地域まちづくり計画（上徳良地域ビジョン）」は、上徳良自治振興会が中心となり地域内の各種団体と連携して取り組むことを総合的に示したもので、住民、関係団体などで地域づくりの方向性を共有するとともに、共通の指針とするものです。

また、計画内容を広く発信して、地域出身者、都市住民など、多様な方の幅広い応援を働きかけるために活用します。

3 地域ビジョン策定の取組

上徳良自治振興会では、各種団体の代表者などとともに「上徳良地域ビジョン策定委員会」を組織し、「第2期上徳良地域まちづくり計画（上徳良地域ビジョン）」の策定に取り組みました。

また、計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために、上徳良まちづくり意見交換会（ワークショップ）を2度開催するとともに、第2期上徳良地域まちづくり計画（上徳良地域ビジョン）案の骨子を各戸に配布して意見募集を行いました。

1章 地域の概要

1 位置

本地域は、三原市の北部に位置しています。

地域中心部（上徳良コミュニティホーム）から主要な場所まで車を利用した場合の所要時間は、三原市中心部（三原市役所本庁、JR三原駅及び三原港）まで約35分です。また、広島空港まで約20分、山陽自動車道三原久井インターチェンジまで約15分です。

図 上徳良地域の位置



2 人口・世帯数

(1) 人口の動向

本地域の総人口を住民基本台帳でみると、令和4(2022)年で501人になっており、平成29(2017)年と比較すると、直近の5年間で74人減少しています。

年齢3区分別人口をみると、令和4(2022)年で0～14歳42人、15～64歳208人、65歳以上251人で、65歳以上の高齢化率は50.1%になっています。

年齢別人口の推移をみると、直近の過去5年間で各年齢層ともに減少しています。

表 人口の推移

(単位：人，%)

区 分		実 数			比 較	
		H24 (2012)年	H29 (2017)年	R 4 (2022)年	H24－H29 (2012)－(2017)	H29－R 4 (2017)－(2022)
実数	0～14歳	63	51	42	△12	△9
	15～64歳	357	251	208	△106	△43
	65歳以上	244	273	251	29	△22
	合 計	664	575	501	△89	△74
割合	0～14歳	9.5	8.9	8.4	－	－
	15～64歳	53.8	43.6	41.5	－	－
	65歳以上	36.7	47.5	50.1	－	－

注：人口は、住民基本台帳（各年3月末現在）。

(2) 世帯数の動向

本地域の世帯数を住民基本台帳でみると、令和4(2022)年で215世帯になっており、平成29(2017)年と比較すると、直近の5年間で10世帯減少しています。

1世帯当たり世帯人員は令和4(2022)年で人2.33人になっており、直近の過去5年間で0.23人減少しています。

表 世帯数等の推移

区 分	実 数			比 較	
	H24 (2012)年	H29 (2017)年	R 4 (2022)年	H24－H29 (2012)－(2017)	H29－R 4 (2017)－(2022)
世帯数（世帯）	259	225	215	△34	△10
世帯人員（人）	2.56	2.56	2.33	0	△0.23

注：世帯数は、住民基本台帳（各年3月末現在）。

3 地域活動の状況

(1) 上徳良地域の各種団体

ア 上徳良自治振興会

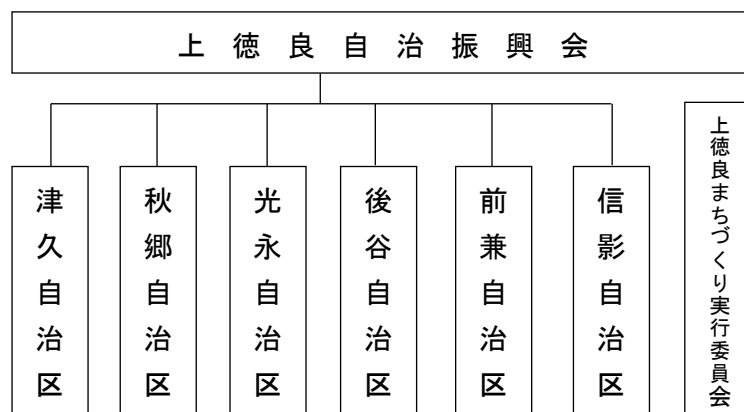
上徳良自治振興会は津久，秋郷，光永，後谷，前兼，信影の6自治区で組織されており，各自治区から選出され自治区長，地区長，班長・委員によって運営しています。

本自治振興会の役員は，会長，副会長，書記，会計，部長，副部長，監事によって構成し，年1回役員総会を開催するとともに必要に応じて役員会を開催しています。

本自治振興会の事業を推進するため，自治振興会全体の運営管理にあたる本部と，分野別の活動を行う総務部，地域福祉部，環境衛生部，保健体育部，産業文化部を設置しています。

また，「上徳良地域まちづくり計画」で掲げた計画を実行するために，「上徳良地域まちづくり実行委員会」を組織し，活動を行っています。

図 上徳良自治振興会の組織



イ その他の団体

その他の団体の活動状況は次のとおりです。

表 その他団体の活動状況

団体名	主な活動
盆踊り夏祭り実行委員会	・盆踊り・夏祭りの開催
女性会	・防災訓練，敬老会へのスタッフとしての参加
民生委員・児童委員	・高齢者，障害者，児童，ひとり親世帯等の調査・実態把握，相談支援，各種行事への参加協力や自主的な福祉活動等
自主防災会	・災害時の避難場所の開設・援助，防災訓練の実施，災害時のボランティア活動等
三原市消防団大和方面隊大和東分団	・出初式への参加，消防屯所の消防設備等の管理，消防訓練，火災予防広報活動，災害時の見廻り，救助支援等
ファミリー津久	・観光・交流事業（イベント開催，農業体験） ・生活支援サービスの提供（家屋の修繕，墓掃除，電球交換等）

(2) 主な地域行事

本地域の主な行事は、次のとおりです。

表 地域行事の状況

開催時期	名称	主な活動内容
6月	ふれあいイベント	・軽トラ市，屋台，ゲームコーナー等
8月	盆踊り夏祭り	・盆踊り，屋台，くじ引き等
9月	敬老会	・ステージイベント，会食，記念品の配布等
10月	ふれあいイベント	・軽トラ市，屋台，ゲームコーナー等
11月	合同防災訓練	・防災講座，救急救命講習，土嚢作り，避難訓練等
12月	イルミネーション点灯	・イルミネーション設置
1月	とんど	・しめ縄，古いお守り，神札等を火でお焚き上げ，無病息災を願う伝統行事
周年	見守り活動	・一人暮らしをはじめとする日常生活に不安のある高齢者等の見守り活動
	高齢者サロン	・いきいき百歳体操，グラウンド・ゴルフ活動等
	上徳良コミュニティホーム清掃等	・上徳良コミュニティホームの清掃，屋外の草刈り等

注：令和3(2021)年度の活動に加えて，コロナ禍以前に行っていた行事を加えて整理。

(3) これまでの取組

「上徳良地域まちづくり計画（平成29年3月）」に基づく過去5年間の主な取組は次のとおりです。令和2～3年度は，コロナ禍のため活動が制限され，難しい運営を余儀なくされました。（各種行事の中止，予算の備品購入への変更等）

表 5年間の主な取組

区分	取組内容
高齢者等の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロンの開催（いきいき百歳体操等） ・高齢者サロン関連備品の購入（血圧測定器，リストウエイトセット，パルスオキシメーター） ・グラウンド・ゴルフ場の整備，器材の購入 ・75歳以上一人暮らし高齢者へのリンゴ配布
子育て支援・子ども育成，UIターン促進	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達との交流活動の支援 ・空き家活用の研究（先進地視察，会議開催）
地域行事	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り夏祭り大会の開催，盆踊り備品の購入
農林業，観光・交流，その他産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいイベント（トラック市）の開催 ・堂々原ホテルの里づくり（ホテル購入，放流，草刈り，水路整備，水車小屋整備） ・上徳良マップ，上徳良カレンダーの作成・印刷・配布
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成（先進地視察等） ・上徳良コミュニティホーム・上徳良山村広場一帯の整備（草刈り，砕石敷作業，倒木処理，掲示板の設置等） ・上徳良コミュニティホームの環境整備（エアコン，Wifi環境） ・事務所用ハウスの購入 ・活動備品の購入（パソコン，コピー機，ラジカセ，ビデオ機器，放送設備，プロジェクター，スクリーン，金庫，イオン発生装置，リモート会議システム，テント，幟旗等）

2章 地域の魅力・資源と問題点・課題

1 地域の魅力・資源

上徳良地域の魅力・資源について、「上徳良地域まちづくり計画」の内容に上徳良地域ビジョン策定会議及び上徳良まちづくり意見交換会（ワークショップ）での意見などを基に整理すると、次のとおりです。

表 地域の魅力・資源

区 分	魅力・資源
立 地	<ul style="list-style-type: none"> ・広島空港に近い ・世羅町方面と広島空港を連絡する県道（フライトロードとフルーツロードを結ぶ道路）が走り、交通量が増加している ・三原市，尾道市，東広島市の中心部に比較的近い
気 象	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害が少ない（地震，水害，台風など） ・温暖な気候
自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特有の自然，山並みの美しさ，空気がきれい ・津久～秋広の標高差 ・地域に生息する豊富な動植物，絶滅危惧種のヒョウモンモドキの生息 ・生物が豊富な河川（徳良川，前谷川，秋郷川，影久川，信末川） ・湧き水がある，水脈が良い，水が豊富
歴史文化	<ul style="list-style-type: none"> ・寺院（照明寺，宝生寺） ・齒の神様，風邪の神様 ・宝伝説（宝泉）
観光・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・堂々原公園一帯（桜並木，堂々原川のすばらしい溪谷，ホテル） ・サツキロード ・上徳良特産品マップの作成
産 業	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしい米 ・特色のある農業（桃，レンコン，イチゴ，ブドウ等の生産） ・世界有数の錦鯉の養殖（阪井養魚場） ・事業所のまちづくりへの参画（イルミネーション，ポニー牧場等）
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい田園景観 ・空き家，休耕田 ・旧神田東小学校（体育館，グラウンドの使用） ・上徳良コミュニティホームの備品の充実，W i f i の設置
人柄・近隣関係	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を大切にする心，やさしい人柄 ・気軽に話ができる人間関係，助け合う関係，共同作業へ協力
地域行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいイベント（軽トラ市），イルミネーション点灯 ・盆踊り夏祭り，とんど
地域活動・人材	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者等の見守り，高齢者サロン，ふれあい交流会 ・ファミリー津久（まちづくりグループ）などの活動
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「いこいの里上徳良だより」の発行（季刊） ・三原市市民協働サイト「つなごうネット」へ「上徳良地域まちづくり実行委員会」のホームページを開設

2 地域の問題点・課題

上徳良地域の問題点・課題について、「上徳良地域まちづくり計画」の内容に上徳良地域ビジョン策定会議及び上徳良まちづくり意見交換会（ワークショップ）での意見などを基に整理すると、次のとおりです。

表 地域の問題点・課題

区 分	問題点・課題	
高齢者の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし，高齢者夫婦等の高齢者のみの世帯及び昼間一人になる高齢者等の見守り，生活相談等への対応 通院，買い物等の移動手段の確保 ゴミ分別，ゴミ出し，共同作業への参加等の日常生活の困りごとへの対応 運転に不安のある高齢者の運転による交通事故の不安 介護者のいる家族への支援（相談対応，交流等） 高齢者サロンへの参加者の固定化，減少，男性の参加者が少ないこと 高齢者サロンでの健康器具の活用が不十分 	
人口減少・若者の定住・子育て	人口減少・若者の定住	<ul style="list-style-type: none"> 若者が少ない，地域に残らない，一度出ると帰って来ない 若者向けの就業機会，住宅の確保
	子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの交流機会の確保（近所に友達がいらない） 近くに小児科がなく，緊急時の不安が大きい 子どもの習い事の間や塾が遠い 高校生の通学手段の確保
農林地・農林業	<ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣（イノシシなど）被害の増加への対応 農業の担い手の減少と遊休農地の増加への対応 桃，レンコン，イチゴ，ブドウ等の特産物のPR不足，直売農家の案内看板不足 山林の荒廃化への対応 	
生活環境	生活サービス	<ul style="list-style-type: none"> 店舗，医療機関がなく不便 上下水道が未整備，合併浄化槽管理点検料が高い
	道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> （主）本郷大和線の交通量が多いが，歩道が未整備 県道，市道の幅員が狭く，歩道が未整備 公共交通機関が不便（路線バスのみで便数が少ない）
	環境管理	<ul style="list-style-type: none"> 冬季に雑草が繁茂してさびしい地域景観 空き家の増加，老朽空き家の放置（火災危険等） 河川の水質悪化への対応，井戸水に鉄分が多い 住民の高齢化に伴いサツキロードの管理が困難化
	防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 水路が狭く，水が溢れる場所がある 街灯が少なく，夜間の道路が暗い
地域行事	<ul style="list-style-type: none"> 行事（盆踊り夏祭り，とんど等）のマンネリ化，魅力不足，参加者の減少 上徳良地域全体の行事が少なく，交流機会が少ない 	
地域活動・人材	<ul style="list-style-type: none"> 上徳良地域全体での結束力に乏しい，まとまりがない 気軽に集まれる場所がない，若者など世代間交流の場の不足 自治振興会の役員をする住民の減少，担い手不足への対応 自治振興会活動における若者の参加が少ないことへ対応 	
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 地域内情報の伝達不足（特に，若者世帯） 三原市の市民協働サイト「つなごうねっと」内に「上徳良地域まちづくり実行委員会」のホームページの設置と上徳良コミュニティホームのWifi設置に係る住民への周知不足 	

3章 地域ビジョン

1 地域の将来像

本計画では、「上徳良地域まちづくり計画」策定時に掲げた地域の将来像を踏襲し、次のとおりとします。

<地域の将来像>

強い絆のもと、地域に誇りを持ち健やかに暮らす 上徳良

2 地域づくりの目標設定

(1) 目標設定

地域の将来像の実現に向け、次のとおり目標を設定します。

ア 自治振興会加入率

現状値	めざす方向	目標値	備考
100% (令和4年度)	現状維持	100% (令和9年度)	・現状値は自治振興会調べ

イ 新規事業数

現状値	めざす方向	目標値	備考
— (令和4年度)	増加	6事業 (令和5～9年度)	・実施計画による

ウ 他団体との連携事業数

現状値	めざす方向	目標値	備考
— (令和4年度)	増加	13事業 (令和5～9年度)	・実施計画による

エ UIターン者数

現状値	めざす方向	目標値	備考
— (令和4年)	増加	10人 (令和9年度)	・20歳代前半の夫婦1組が毎年UIターン

(2) 人口の将来見通し

過去5年間（平成29(2017)年から令和4(2022)年）の人口推移が今後も継続した場合の人口を推計すると、計画策定年次の令和4(2022)年の501人から20年後の令和24(2042)年には287人になり、214人減少するものと見込まれます。年齢3区分別人口をみると、各年齢層ともに減少します。

こうした状況を打開し、持続可能な地域づくりに向けて、0～14歳人口が増加に転じることを目標に掲げ、本計画で掲げる「定住・UIターンが活発なまちづくり」をはじめとする各種取組を推進します。

こうした取組の結果、毎年20歳代前半の夫婦1組が過去5年間の動向より増加するものとし、令和24(2042)年の0～14歳人口を47人、総人口を345人と設定します。

注：人口推計は、島根県中山間地域研究センターの人口予測プログラムを用いました。

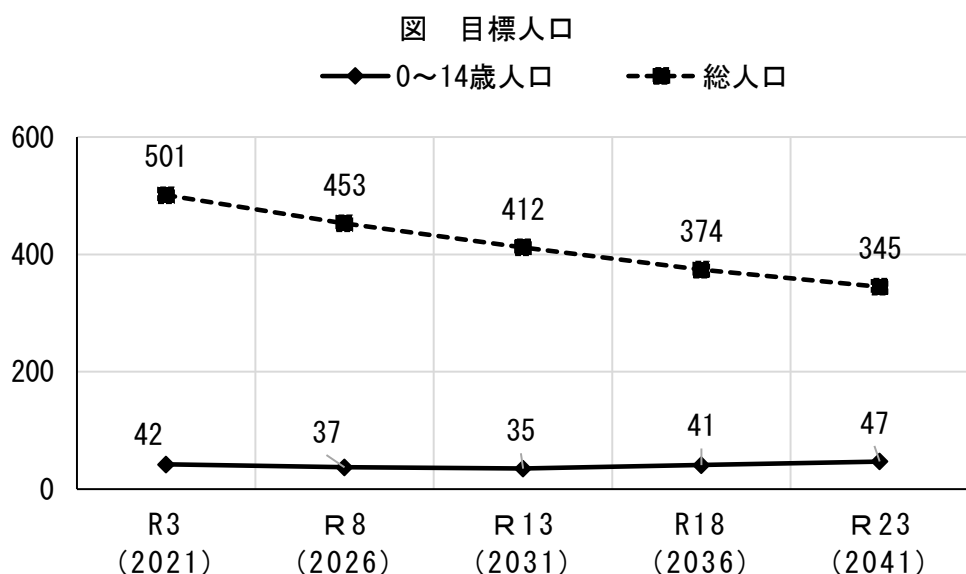


表 人口目標 (単位：人)

区 分	実 績	推 計			
	令和4 (2022)年	令和9 (2027)年	令和14 (2032)年	令和19 (2037)年	令和24 (2042)年
0～14歳	42	37	35	41	47
15～64歳	208	198	187	173	171
65歳以上	251	218	190	160	127
合 計	501	453	412	374	345

注-1：過去5年間の動向に加え、毎年20歳代前半の夫婦1組が増加するものとした。

-2：出生率は、H29.4～R4.3までに出生した人口（0～4歳）をR4.3の20～39歳の女性人口で除した値。男性0.165，女性0.157。

-3：令和4(2022)年は3月31日現在の人口。

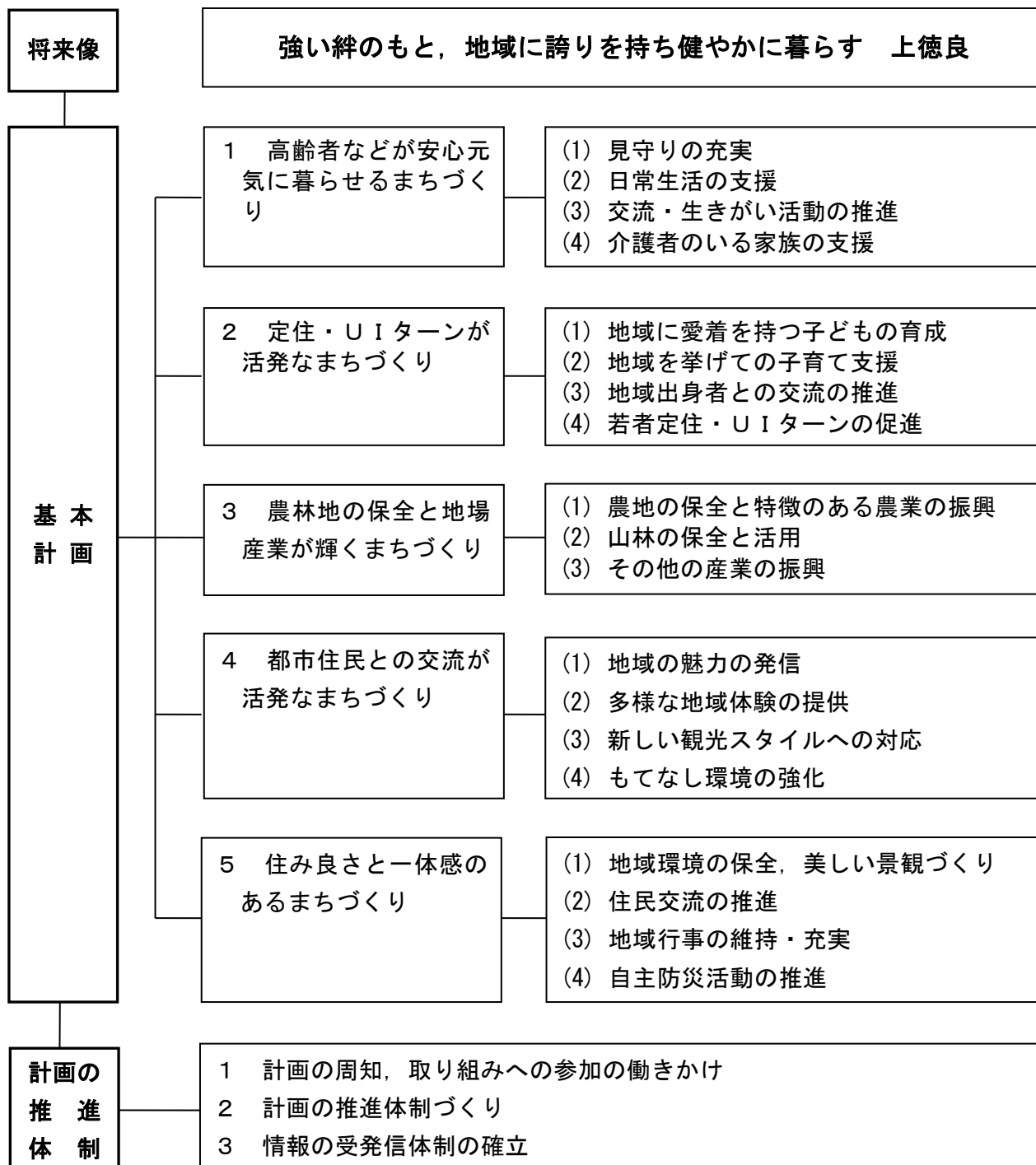
参考 過去5年間の人口推移が今後も継続した場合の人口推計 (単位：人)

区 分	実 績	推 計			
	令和4 (2022)年	令和9 (2027)年	令和14 (2032)年	令和19 (2037)年	令和24 (2042)年
0～14歳	42	36	30	31	30
15～64歳	208	188	169	146	130
65歳以上	251	218	190	160	127
合 計	501	442	389	337	287

3 地域づくりの体系

地域の将来像の実現に向けて、地域づくりの基本計画及び計画の推進体制を次のように掲げます。

図 地域づくりの体系



4 地域づくりの基本計画

地域の将来像の実現に向けて、地域づくりの基本計画として5つの柱と主な取組を掲げます。

なお、取組事項は、「上徳良地域まちづくり計画」の内容を踏まえるとともに、上徳良地域ビジョン策定会議及び上徳良まちづくり意見交換会（ワークショップ）、第2期上徳良地域まちづくり計画（上徳良地域ビジョン）案骨子に係る意見募集などにおける意見のうち、上徳良自治振興会をはじめとする各種団体及び住民が取組主体になる事項をとりまとめました。

1 高齢者等が安心元気に暮らせるまちづくり

高齢者の方や障がいのある方が安心安全に暮らせるように、見守りの充実、日常生活の支援などに取り組みます。また、高齢者、障がい者をはじめとする住民が健康で元気に暮らせるように、交流及び生きがい活動の推進に取り組みます。さらに、介護者の居る家族の支援に取り組みます。

(1) 見守りの充実

- ・高齢者の方や障がいのある方に対する日常的な見守りを継続するとともに緊急時や災害時の支援を含めて、総合的な支援に取り組みます。
- ・支援を必要とする高齢者一人ひとりの生活実態とニーズを的確に把握するとともに的確な支援を行うため、支援に関わっている民生委員・児童委員、自主防災会、三原市社会福祉協議会などで組織する地域福祉懇談会を設置します。
- ・情報交換に基づき、高齢者等一人ひとりの世帯構成、健康状態、自家用車の運転の有無等に応じた効果的な支援に取り組みます。

(2) 日常生活の支援

- ・引きこもりがちな一人暮らし高齢者等の交流を促進するために設置した「ふれあい交流会」の開催を継続し、声かけを徹底して参加の促進を図ります。
- ・高齢者等の外出を支援するため、「大和ふれあいタクシー」の周知と利用促進に取り組みます。
- ・高齢者等の買い物、ゴミ出しなどの様々な困りごとの支援に取り組みます。

(3) 交流・生きがい活動の推進

ア 高齢者サロン

- ・自治区単位での高齢者サロンの設置に向けて、高齢者サロン未設置地区での立上げに取り組みます。
- ・既設高齢者サロン設置済み自治区の運営スタッフの充実に取り組むとともに、高齢者サロンへの参加の促進を図るために、開催日の周知、男性の参加を促すプログラムの検討及び交通手段のない高齢者等に対する送迎対策に取り組みます。
- ・上徳良コミュニティホームにおいて地域全体の高齢者等が気軽に集える常設サロンの開設に取り組みます。

イ 健康づくり

- ・いきいき百歳体操、グラウンド・ゴルフなどのスポーツ活動の維持・充実に努め、高齢者等の健康づくりと交流の推進に取り組みます。

ウ 生きがい対策

- ・高齢者等の生涯学習活動を推進するとともに、高齢者の知恵・技術を活用して地域に貢献することができる場の確保に取り組みます。

(4) 介護者のいる家族の支援

- ・介護者のいる家族同士の情報交換、交流の場づくりに取り組みます。
- ・上徳良コミュニティホームにおいて、保健福祉・介護に係る支援制度やサービスに係る情報や困りごとの相談先などの情報を提供するコーナーの設置に取り組みます。

2 定住・U I ターンが活発なまちづくり

地域で育った子ども、若者の定住を促進するため、様々な地域体験の提供を通じて地域に愛着を持つ子どもの育成、保護者に対する地域を挙げての子育て支援に取り組みます。

また、地域出身者との交流を推進するとともに、若者定住の促進、U I ターンの支援、空き家活用、U I ターン情報の発信などに取り組みます。

(1) 地域に愛着を持つ子どもの育成

- ・夏休みなどを活用し、地域の子どもに自然、歴史文化、農林業体験などの機会の提供に取り組みます。特に、高齢者の持つ知恵・技術（漬物、餅・おはぎ、お茶、わら製品づくり等）の伝承に取り組みます。
- ・地域の農家、事業所などと連携して子どもにキャリア学習の場を提供し、将来地域での就業に結びつけます。

(2) 地域を挙げての子育て支援

- ・子どもと保護者の交流を推進するため、上徳良コミュニティホーム、上徳良山村広場及び堂々原公園を活用して、子どもの遊び場及び保護者の交流の場づくりを推進するほか、保護者が安心して仕事ができる場所（仕事場）を提供し、子育てと仕事が両立できる環境づくりに取り組みます。
- ・子育てをしている保護者に対して、高校生の通学送迎をはじめとする困りごとに係るアンケート調査を実施し、必要とされる支援を把握するとともに、三原市ファミリーサポート事業の活用、地域での子育て支援人材バンクの設置など、子育てを支援する人材の確保に取り組みます。
- ・大和町及び久井町の住民自治組織と連携して、各種習い事の場や学習塾の確保に取り組みます。

(3) 地域出身者との交流の推進

- ・地域出身者の名簿づくり、地域との交流意向の把握、地域情報の発信などによる地域出身者との交流を推進するとともに、帰省時の地域活動への参加や地域づくり活動の応援を働きかけます。
- ・住宅、農地などの所有者に対して、これらの管理、活用の支援に取り組みます。

(4) 若者定住・U I ターンの促進

ア 若者定住の促進

- ・独身の若者の交流を促進するため、地域における出会いの場の確保に取り組みます。

- ・子育て世帯の交流を推進するため、20歳代、30歳代、40歳代など共通の話題で話しやすいグループづくりに取り組みます。

イ U I ターン希望者及びU I ターン者への支援

- ・U I ターン希望者に対して、相談員の配置、住民による地域の案内、住宅、遊休農地及び就業の場の紹介、住民との交流機会の提供などの支援に取り組むとともに、空き家を活用した短期滞在施設（お試し居住施設）の設置・運営に取り組みます。
- ・U I ターン者が地域に馴染めるように、困りごと相談へ対応するとともに、日常生活ルールの紹介、地域行事や各種団体の活動などへの参加を働きかけます。

ウ 空き家の活用

- ・空き家を活用してU I ターンを促進するため、空き家活用勉強会の開催、先進地事例の研究、先進地視察を行い、空き家を管理・活用する体制づくりに取り組みます。
- ・空き家調査の実施、空き家カルテの作成、空き家所有者に対する意向調査の実施、空き家活用意向のある所有者に対して空き家バンク登録の働きかけ、家財整理の支援などに取り組みます。

エ U I ターン情報の発信

- ・魅力的な生活環境、空き家、遊休農地及び就業の場の紹介などのU I ターン支援情報を自治振興会のホームページなどを通じて発信します。

3 農林地の保全と地場産業が輝くまちづくり

農地の保全、活用を図るため、有害鳥獣対策の強化、農業関係団体の連携による農地保全体制づくりと担い手の確保、遊休農地の活用などを行うとともに、特色のある農業の振興を図るために、特産物のブランド化の推進、農産物の販路拡大などの支援に取り組みます。

また、荒廃が進む山林の保全と活用を推進するほか、その他産業の振興に取り組みます。

(1) 農地の保全と特色のある農業の振興

ア 有害鳥獣対策

- ・有害鳥獣被害の防止を強化するため、地域全体で三原市の補助制度を活用しながらイノシシなどの共同防護柵の設置・充実に取り組むとともに、狩猟免許、捕獲わな免許取得及び更新費の補助、捕獲技術向上のための研修会への参加などの支援に取り組みます。

イ 農地保全体制づくりと農業の担い手の確保

- ・地域の核となる農業者、中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払交付金に関わる共同活動組織と連携して、地域全体で農地を維持・保全する体制づくりに取り組みます。
- ・農業の担い手を育成するため、地域の若者の農業への関心を高めるとともに、交流しながら農業研修をできる場の提供に取り組みます。
- ・地域外から農業の担い手を受け入れるための体制づくりに取り組みます。
(新規農業者の募集、住宅の斡旋、研修先の提供等)
- ・遊休農地を活用して、都市住民を対象とした市民農園、子ども向け体験農園（芋掘り体験など）の設置・運営に取り組みます。

ウ 特色のある農業の振興

- ・桃、レンコン、イチゴ、ブドウなどの農産物のブランド化を一層推進するため、個別農

家や農事組合法人の連携による生産技術の向上，生産規模の拡大を支援します。

エ 農産物の販売促進

- ・コロナ禍で中止してきた「ふれあいイベント（軽トラ市）」の復活と企画内容の拡充を図るため，地域内の農家及びグループだけでなく地域外の農家及びグループへの参加を働きかけるとともに，自治振興会及び大和町自治振興連合会のホームページなどを通じてのPRを強化し，広域からの誘客に取り組みます。
- ・桃，レンコン，イチゴ，ブドウなどの直売時期に農家への誘客を促進するため，PR用幟旗の制作・道路沿道などへの設置，農家PRパンフレットの作成・配布，地域で野菜マルシェ及びフリーマーケットの開催，ふれあいイベント（軽トラ市）との連携，自治振興会及び大和町自治振興連合会のホームページなどを通しての情報発信に取り組みます。
- ・地域の農産物をPRするために，三原市内の大規模イベントへ「上徳良ふれあいイベント開催グループ」としての参加を検討します。
- ・個別農家，農事組合法人などと連携して農産物の加工，販路の拡大（消費者への直販，インターネット販売など）に取り組みます。

(2) 山林の保全と活用

- ・豊富にある竹を活用し，竹チップ，竹粉末，竹肥料の製造に取り組むとともに，間伐材を活用した薪づくりに取り組みます。（竹，間伐材は，各家庭が伐採，作業所に搬入）
- ・住民の里山保全への関心を高めるきっかけづくりとするために，シイタケ栽培に取り組みます。

(3) その他の産業振興

- ・美しい上徳良の景観づくり（景観作物，花の植栽）と併せて，和蜂の養蜂に取り組みます。
- ・捕獲した有害鳥獣の解体，加工，販売に取り組みます。

4 都市住民との交流が活発なまちづくり

良好な高速交通条件や観光客の通行が多い立地条件を活かして関係人口の拡大を図るために，地域の魅力の発信，多様な地域体験の提供，新しい観光スタイルへの対応，もてなし環境の強化に取り組みます。

(1) 地域の魅力の発信

- ・観光・交流情報を広域的に発信するため，インターネットを活用した情報発信（ホームページ・SNS）に取り組みます。特に，写真，動画などで上徳良の魅力を発信します。
- ・観光・交流情報を幅広く発信するため，大和町自治振興連合会，観光地域づくり法人空・道・港及び一般社団法人三原観光協会などと連携した情報発信に取り組みます。

(2) 多様な地域体験の提供

- ・野菜収穫体験（サツマイモ，ジャガイモ，レンコン掘りなど），山菜採りなどの農山村体験の提供に取り組みます。
- ・養鯉場と連携し，鯉の生態を学習する場の設置（錦鯉展示館など）に取り組みます。

- ・大和町自治振興連合会と連携して、大和町を対象とした神社仏閣巡り、田園ウォーキング及びサイクリングコースづくりなどに取り組み、様々なイベント開催に取り組みます。

(3) 新しい観光スタイルへの対応

ア ワークेशन客の受け入れ

- ・良好な高速交通条件（広島空港、山陽自動車道インターチェンジ、JR山陽新幹線駅に近接）と豊かな自然・田園環境を活用して、「ワーケーション」の受け入れに取り組みます。
 - ・受け入れ場所は上徳良コミュニティホーム、上徳良山村広場及び堂々原公園一帯
 - ・宿泊場所として、上徳良山村広場または堂々原公園へキャンプ場の整備
 - ・仕事場として、上徳良コミュニティホームの部屋の貸出
 - ・自炊客へ上徳良コミュニティホームの調理室の提供
 - ・入浴施設として上徳良コミュニティホームまたは別棟へシャワー室の整備
- 注：ワーケーションとは、「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地でテレワークを活用して仕事をするとともに休暇をとる過ごし方。

イ 「おてつたび」の受け入れ

- ・人手不足の農家で農作業を手伝いながら、豊かな自然・田園環境の体験や地域住民と交流することができる「おてつたび」の受け入れに取り組みます。
 - ・宿泊場所としては、空き家を活用した短期滞在施設（お試し居住施設）、上徳良コミュニティホーム一帯へ整備を検討しているキャンプ場、近隣に整備されているグランピング施設の活用を検討します。
- 注：「おてつたび」は、お手伝いと旅を掛け合わせた造語で、地域の短期的・季節的な人手不足で困る地域の方のお手伝い（賃金収入あり）をしながら旅行する観光のスタイル。

(4) もてなし環境の強化

- ・来訪客に上徳良地域を紹介するとともに周遊を促進するために、観光・交流資源の発掘・整理、観光案内パンフレットの作成・印刷、観光案内看板・施設説明看板の制作及び設置などに取り組みます。
- ・宿泊施設として、空き家を活用した短期滞在施設（お試し居住施設）、上徳良コミュニティホーム、上徳良山村広場及び堂々原公園一帯を活用したキャンプ場の整備などに取り組みます。
- ・自治振興会及び大和町自治振興連合会のホームページへイベント情報、観光案内パンフレットなどを掲載して、広域からの誘客に取り組みます。

5 住み良さと一体感のあるまちづくり

住み良いまちづくりを推進するため、地域環境の保全、美しい景観づくりに取り組みます。また、地域全体の一体感を醸成するため、住民交流の推進、地域行事の維持・充実、自主防災活動の推進に取り組みます。

(1) 地域環境の保全、美しい景観づくり

- ・地域環境の保全を図るため、道路沿道の草刈りや河川・水路の清掃活動を充実・強化しま

す。今後は冬季の景観づくりに配慮した保全活動に取り組みます。

- ・多様な動植物が生息する地域環境の維持，保全に取り組みます。特に，絶滅危惧種のヒョウモンモドキの保全活動を行っているグループの活動を支援します。
- ・地域全体の美しい景観形成を図るため，堂々原公園の桜，サツキロードなどの管理を充実するほか，遊休農地への景観作物，道路沿道への花の植栽などに取り組みます。
- ・本地域で咲く様々な花を活用して，花見会，写真コンテストなどのイベント開催に取り組みます。

(2) 住民交流の推進

- ・上徳良地域の交流拠点となっている上徳良コミュニティホーム，上徳良山村広場及び堂々原公園一帯の環境保全及び美しい景観づくりを継続するとともに，様々なイベントの開催を通じて住民交流の推進を図ります。
- ・上徳良コミュニティホームを活用して，誰もが気軽に集い，お茶を飲みながら雑談できる住民交流常設サロンづくりに取り組みます。
- ・子どもから高齢者に至る地域住民が，得意なことを教え合いながら交流する場づくりに取り組みます。
 - ・中高生を講師とする高齢者向けスマホ教室の開催
 - ・地域の大人が講師となり，就学前の子ども，小中高校生を対象とした自然，歴史文化，産業などの学習会の開催
 - ・高齢者による子育て中の保護者の子育て相談の支援

(3) 地域行事の維持・充実

- ・コロナ禍で中止していた地域行事の復活，充実及び新規行事の開催による住民交流の推進，絆づくりに取り組みます。
- ・盆踊り夏祭り，秋祭り，イルミネーション点灯，とんど，敬老会などの既存地域行事を維持・充実するために担い手の確保に取り組みます。
- ・既存行事の開催時期に配慮しながら，子ども及び若者向け行事，花見会，スポーツ大会，フリーマーケット，ドライブシアター，家庭の自慢料理発表会，魚販売等の新規行事の開催に取り組みます。
- ・地域行事への参加を促進するため，地域行事紹介冊子の作成・配布（日程，行事内容等）や地域行事において子ども及び若者が主役になる場の確保などに取り組みます。

(4) 自主防災活動の推進

- ・自主防災活動に指導的な役割を果たす人材（防災士等）の育成，住民の防災・減災意識の高揚，避難訓練の充実に取り組むとともに，公設避難所，自主避難所の周知を徹底するなど，地域を挙げての自主防災体制の確立に取り組みます。
- ・災害時における自主避難所の運営体制の確立や防災備品の備蓄に取り組みます。
- ・災害時の避難行動要支援者に対する避難支援体制づくりと避難行動要支援者名簿の定期的な更新に取り組みます。

5 計画の推進体制

(1) 計画の周知，取り組みへの参加の働きかけ

- ・各種団体の会合などで「第2期上徳良地域まちづくり計画（上徳良地域ビジョン）」の周知に取り組みます。
- ・住民一人ひとりの地域づくりへの当事者意識を醸成するとともに，地域づくり活動への参加を働きかけます。

(2) 計画の推進体制づくり

ア 幅広い参加と持続的に活動できる体制の確立

- ・「第2期上徳良地域まちづくり計画（上徳良地域ビジョン）」の実行にあたっては，効果的なまちづくりを推進するために，自治振興会と各種関係団体が連携して取り組みます。そのため，自治振興会と各種団体の更なる連携の強化に取り組みます。
- ・自治振興会などへ女性，若者の参加を促進するため，同世代の横の結びつき，若い世代の多い消防団，保護者会などを活用した参加の働きかけ，会議の開催曜日・時刻への配慮などによる参加しやすい環境づくりに取り組みます。
- ・地域の人材，事業所などの得意分野を整理したリストを作成し，地域づくりに適材適所で協力してもらう体制を確立します。
- ・講習会・研修会などへの派遣，講演会の開催，先進地視察の実施などによる人材育成に取り組みます。

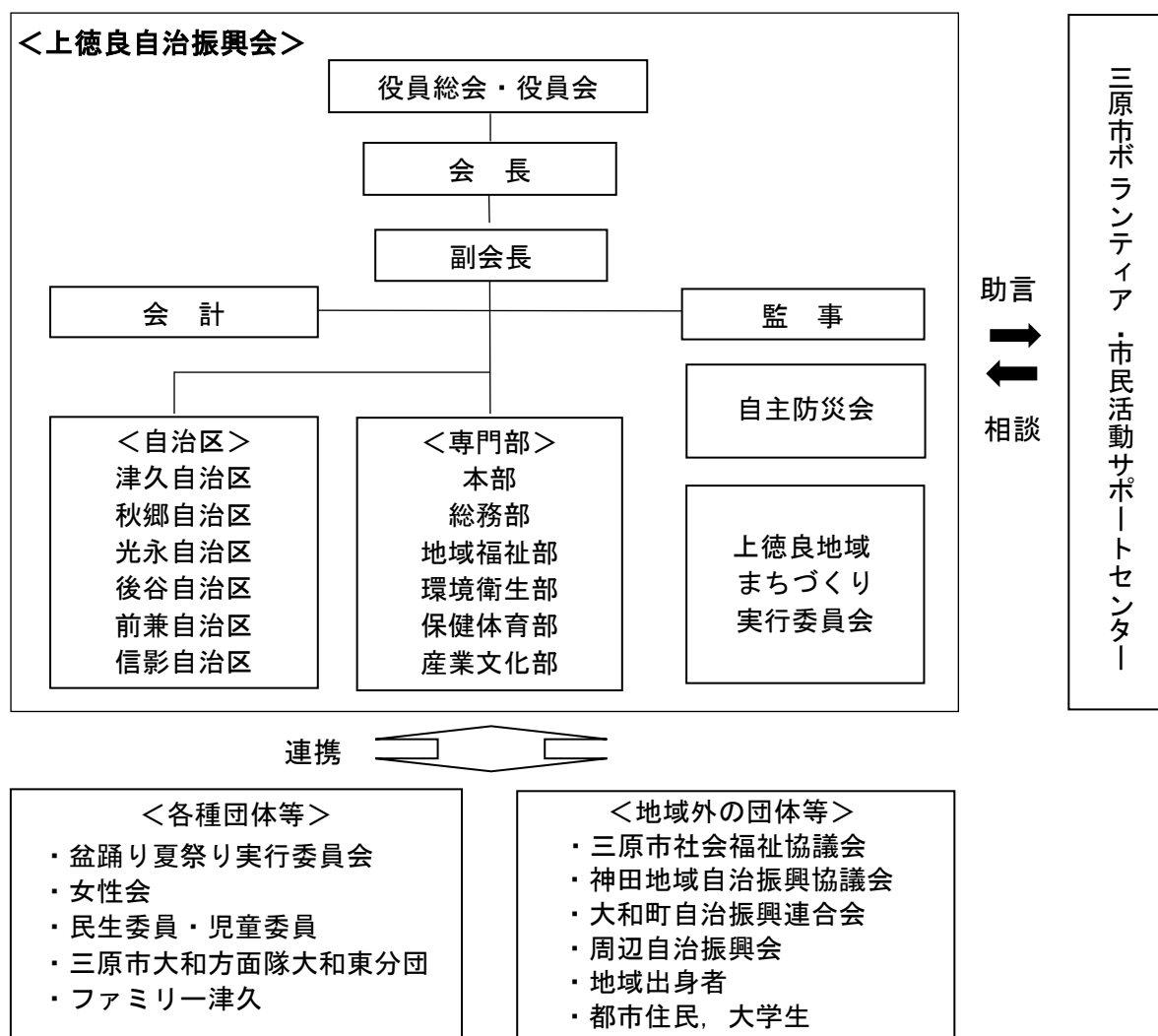
イ 地域外の個人，団体との連携の強化

- ・三原市ボランティア・市民活動サポートセンターと連携し，地域づくりへの助言，専門的人材の紹介・派遣などの支援を受け，地域づくり活動の活性化を図ります。
- ・三原市の中山間地域の共通課題（高齢者の生活支援，UIターン促進，観光・交流，情報発信等）へ効果的に取り組むため，大和町自治振興連合会及び周辺自治振興会などとの連携を強化します。
- ・地域外の団体との連携を強化して地域づくりへの応援を受けるとともに，地域出身者，都市住民，大学生などに対して，地域行事への参加や地域づくりへの応援を働きかけます。

ウ 活動財源の確保

- ・活動資金を確保するため，収益事業の導入を積極的に検討するほか，国，県，市などの支援制度の活用を図ります。
- ・農産物販売，観光・交流事業をはじめとする収益事業の受け皿として，NPO法人，一般社団法人または住民出資の地域づくり会社などの設立に取り組みます。

図 第2期上徳良地域まちづくり計画（上徳良地域ビジョン）の実行体制



(3) 情報の受発信体制の確立

ア 地域外への情報の受発信

- ・三原市の市民協働サイト「つなごうねっと」内に「上徳良地域まちづくり実行委員会」として登録・地域情報の発信をしているが，上徳良自治振興会として新たにアクセスしやすく多彩な情報を発信できるホームページを開設し，地域出身者，都市住民，大学生などに対して地域の魅力や年間行事・祭りのスケジュール，UIターン支援情報などを発信するほか，SNSでの情報発信に取り組みます。
- ・各種団体，個人のホームページ・SNSなどを通じて，地域外の知人・友人などへの上徳良の情報発信を働きかけるほか，上徳良の情報が得やすいようにツイッターではハッシュタグ化しての情報発信を働きかけます。

イ 地域内への情報の受発信

- ・地域情報が住民一人ひとりに周知徹底できるように，回覧板を通じて情報の周知を徹底するとともに，「いこいの里上徳良だより」の発行回数及び紙面内容の充実に取り組みます。

- ・若者世帯に対しては，ホームページ・SNSなどを活用した情報の受発信に取り組みます。
- ・役員会，部会，上徳良地域まちづくり実行委員会の行事の伝達や意見交換などについて，ホームページ・SNSの活用に取り組みます。

ウ 人材の確保・育成

- ・上徳良自治振興会のホームページ，フェイスブックなどを管理，活用できる人材の確保・育成に取り組み，タイムリーな情報の受発信体制を確立します。

資料編

1. 策定経過

- R4.5.27 (金) 地域ビジョン策定に関する市主催の説明会に3名出席
- R4.7.21 (土) 第1回上徳良地域ビジョン策定会議
- (1) 市からの説明事項
 - 事業概要及び「地域ビジョン」策定について
 - (2) 協議事項
 - ①5年間の成果・課題整理
 - ②ワークショップ開催について
- R4.10.21 (金) 第1回上徳良まちづくり意見交換会 (ワークショップ)
- ・各班に分かれて話し合い
- R4.11.19 (土) 第2回上徳良まちづくり意見交換会 (ワークショップ)
- ・各班に分かれて話し合い
- R4.12.19 (月) 第2回上徳良地域ビジョン策定会議
- (1) 報告事項
 - 上徳良まちづくり意見交換会 (ワークショップ) での意見 (今後の取組)
 - (2) 協議事項
 - ①第2期上徳良地域づくり計画 (上徳良地域ビジョン) 素案について
 - ②第2期上徳良地域づくり計画 (上徳領地域ビジョン) 実施計画素案について
- R5.1.1 ~
R5.1.31 上徳良地域ビジョン (案) を各戸配布し意見募集
- R5.2.9 (木) 第3回上徳良地域ビジョン策定会議
- (1) 報告事項
 - ①第2期上徳良地域まちづくり計画 (上徳良地域ビジョン) 案骨子への意見
 - ②人口の将来見通しの比較
 - (2) 協議事項
 - ①第2期上徳良地域まちづくり計画 (上徳良地域ビジョン) 案について
 - ②第2期上徳良地域づくり計画 (上徳領地域ビジョン) 実施計画案について
 - (3) 今後の取組について

2. 上徳良地域ビジョン策定委員会名簿

番号	名前	所属団体	備考
1	森政 宏征	自治振興会, まちづくり実行委員会	会長, 委員長
2	植村 正宏	自治振興会, まちづくり実行委員会	副会長, 副委員長
3	松浦 尚樹	自治振興会	書記
4	久保田 欽也	自治振興会	会計
5	小倉 義春	自治振興会	監査
6	阿部 敬三	自治振興会 まちづくり実行委員会	監査, 地域福祉部副部長, 事務局員
7	藤原 武徳	まちづくり実行委員会	事務局長
8	丸山 一郎	まちづくり実行委員会	会計
9	舩田 孝夫	まちづくり実行委員会	書記
10	岩川 孝子	まちづくり実行委員会	事務局員
11	吉川 妙子	まちづくり実行委員会 自治振興会	事務局員 環境衛生部副部長
12	阪井 瑞枝	まちづくり実行委員会	事務局員
13	今田 澄子	まちづくり実行委員会	事務局員
14	新川 一郎	まちづくり実行委員会	事務局員
15	尾羽根 千代美	まちづくり実行委員会	事務局員
16	稲葉 友和	まちづくり実行委員会	事務局員
17	金原 貴生	まちづくり実行委員会	事務局員
18	菅 治隆	まちづくり実行委員会	事務局員
19	小泉 甲祐	まちづくり実行委員会	事務局員
20	石路 正純	まちづくり実行委員会	事務局員
21	新谷 勝美	まちづくり実行委員会	事務局員, 民生委員児童委員
22	秋広 文夫	まちづくり実行委員会	事務局員, 民生委員児童委員
23	近廣 小夜子	まちづくり実行委員会	事務局員, 民生委員児童委員
24	渡谷 洋子	まちづくり実行委員会	事務局員, 地域支援員
25	東 含	自治振興会	総務部部長
26	中川 洋	自治振興会	総務部副部長
27	松浦 敏彦	自治振興会	地域福祉部部長
28	清水 秀宣	自治振興会	環境衛生部部長
29	平田 光則	自治振興会	保健体育部部長
30	今田 義則	自治振興会	保健体育部副部長
31	土居 昌夫	自治振興会	産業文化部部長
32	稲葉 はるみ	自治振興会	産業文化部副部長